

GIMPによる文字書き込み

GIMP 講座第2回目は、写真への文字書き込みについて説明します。この技法を使えば、年賀状や動画風スライドショーの画像として利用することができます。

GIMPの起動方法や初期画面の構成については、GIMP第1回講座で詳しく説明してありますので、ここでは簡単な説明に止めます。

1. GIMPを起動する

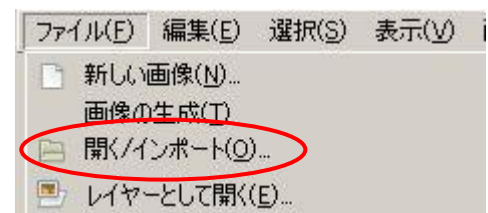
GIMPフォルダを開き、起動アイコン(GIMPPortable.exe)をダブルクリックすると、暫らくして、下図のような画面が起動します。



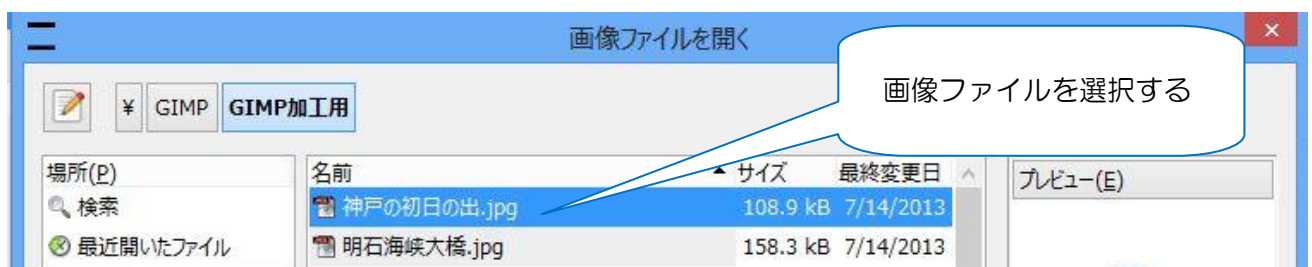
2. 画像を読み込む

文字を書き込む画像をGIMPの画面に表示します。

- ① 描画ウィンドウの「ファイル」メニューの「開く/インポート」をクリックする。

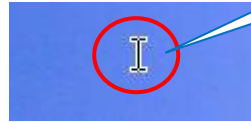


- ② 「画像ファイルを開く」画面で写真を指定し、「開く」ボタンをクリックする。
(講座では「GIMP加工用」フォルダにある画像を使用します。)



3. 文字を書き込む

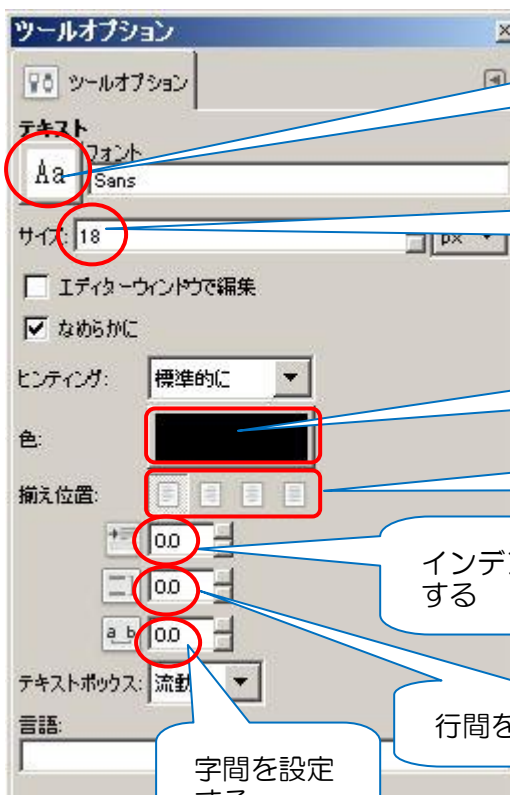
- ① ツールボックスの「テキスト」ボタンをクリックする。



マウスポインタの形が変わる

- ② ツールオプション画面が表示されるので、フォントや文字の大きさ等を設定する

ツールオプションが表示されないときは、メニューの「ウインドウ」-「ツールオプション」をクリックすると表示できる。



ここをクリックして、フォントを選択する

フォントのサイズを変更する

ここをクリックして、文字色を選択する

文字の揃え方（左揃え、右揃え、中央揃え、両端揃え）が設定できる

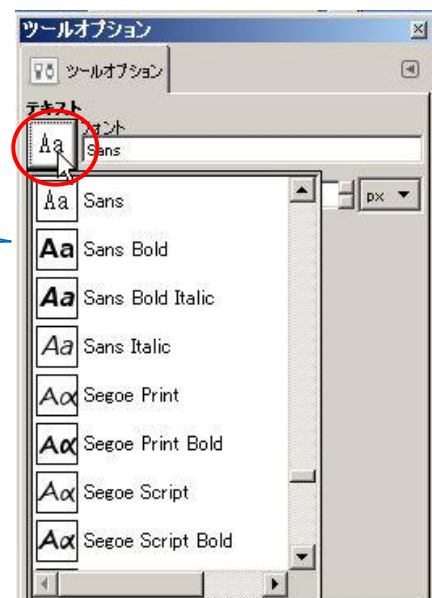
インデントを設定する

行間を設定する

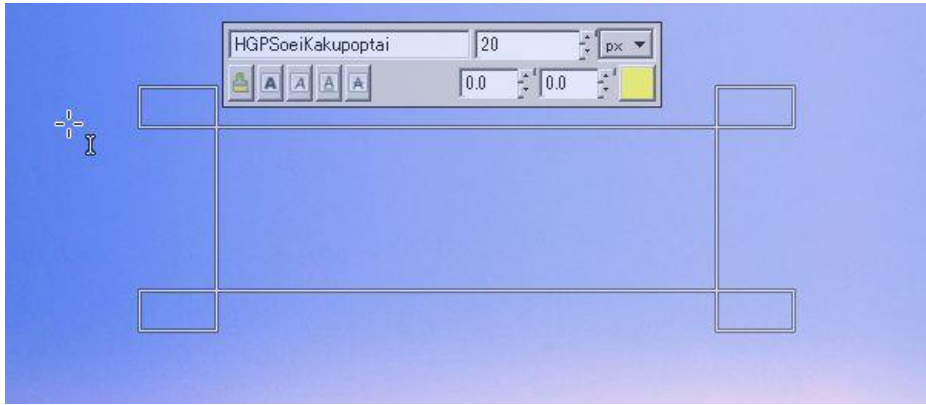
字間を設定する

(注) フォントは、自分のパソコンにある種類のものが、ローマ字で表示される

ツールオプションの機能は、文字入力後でも変更出来るので、文字入力をした後にインデント、行間、字間などを試してみましょう。



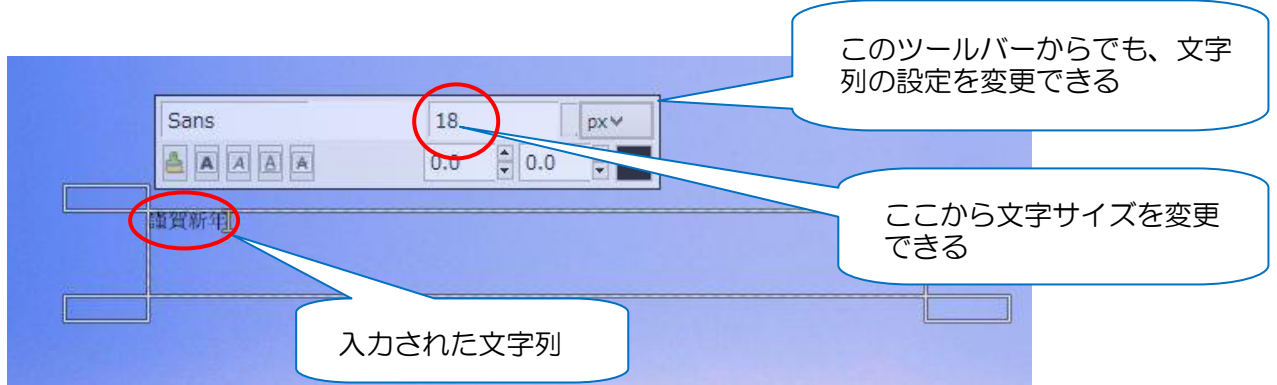
③ 画面をドラッグしてテキストボックス（四角の枠）を描く



④ 文字を入力する

キーボードから文字を入力すると、デスクトップの左上に入力候補文字が表示される。⇒「Enter」キーを押すとテキストボックス内に文字が表示される。

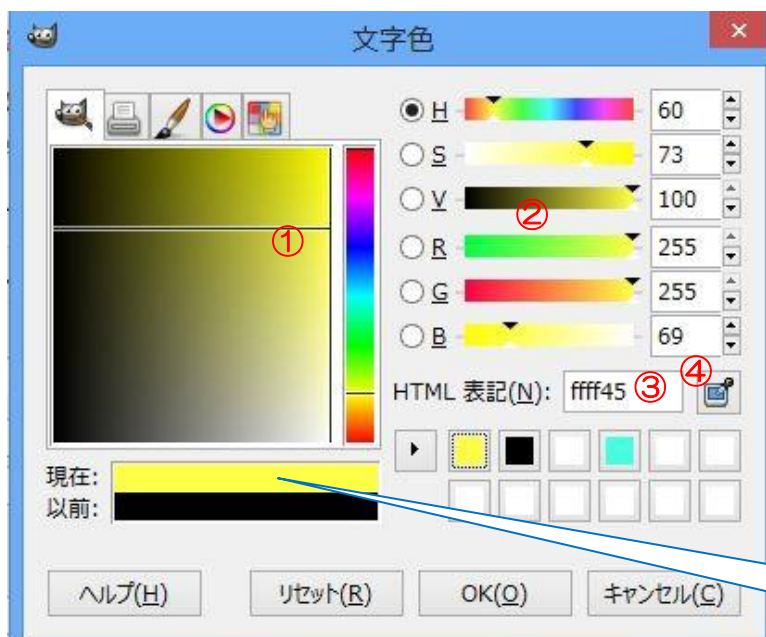
画像のサイズとフォントサイズとのバランス上、入力した文字が極小又は極大文字で表示されることがある ⇒ フォントサイズを変更して画像全体とのバランスを図ります。



⑤ 入力した文字を訂正する場合は、対象文字の上をドラッグして選択後、再入力します。

4. 文字の色を変える

① ツールオプション画面の「色」の右側長方形をクリックすると、「色文字」画面が表示される



文字色は、4つの方法で選択できる。

- ① グラデーションの部分をクリックする
- ② アルファベットのバーをドラッグする（又は右側の数値を変更する）
- ③ カラーコードを入力する
- ④ スポイトをクリックして、画面上の好きな色をクリックする

選んだ色がここ（上段）に表示される

- ② 好きな色を選んで「OK」をクリックするとカラー文字に変換出来る。

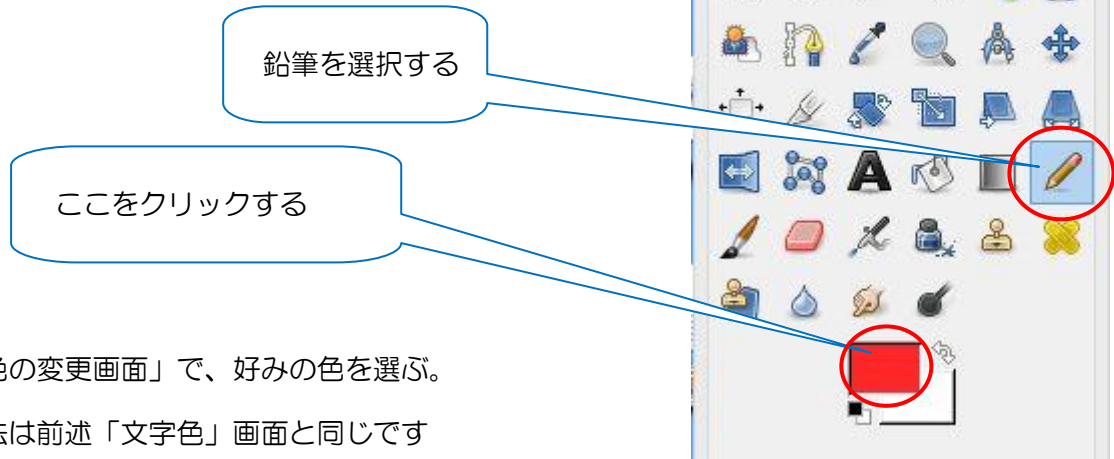
画像に文字を書き込むと「テキストレイヤー」というレイヤーが作成されます。(右図)



5. 文字の一部に色を変える

書き込んだ文字の一部だけの色を変える方法です。

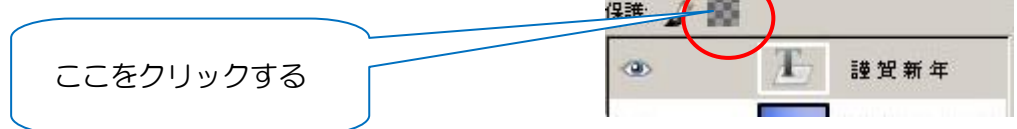
- ① ツールボックス「鉛筆」をクリックし、「描画色と背景色」ボタンをクリックする。



- ② 「描画色の変更画面」で、好みの色を選ぶ。

選択方法は前述「文字色」画面と同じです

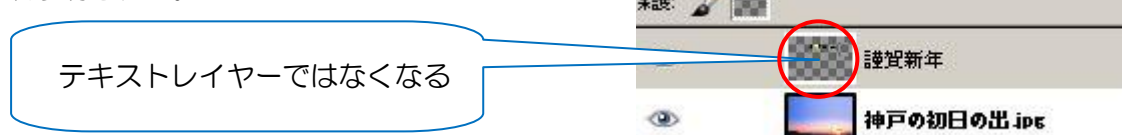
- ③ レイヤー画面「保護」欄の「透明部分を保護」ボタンをクリックする。(オンの状態にする)



- ④ 色の変更をしたい部分をドラッグする。

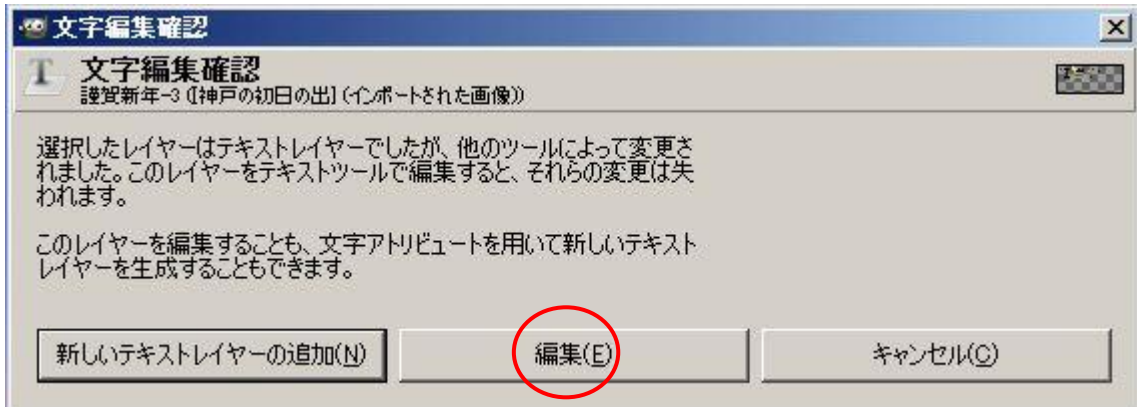


「鉛筆」で色を塗ると、テキストレイヤーではなくなる ⇒ 文字列の修正はできるが、色を塗ったことは取り消される。



6. 文字の事後修正

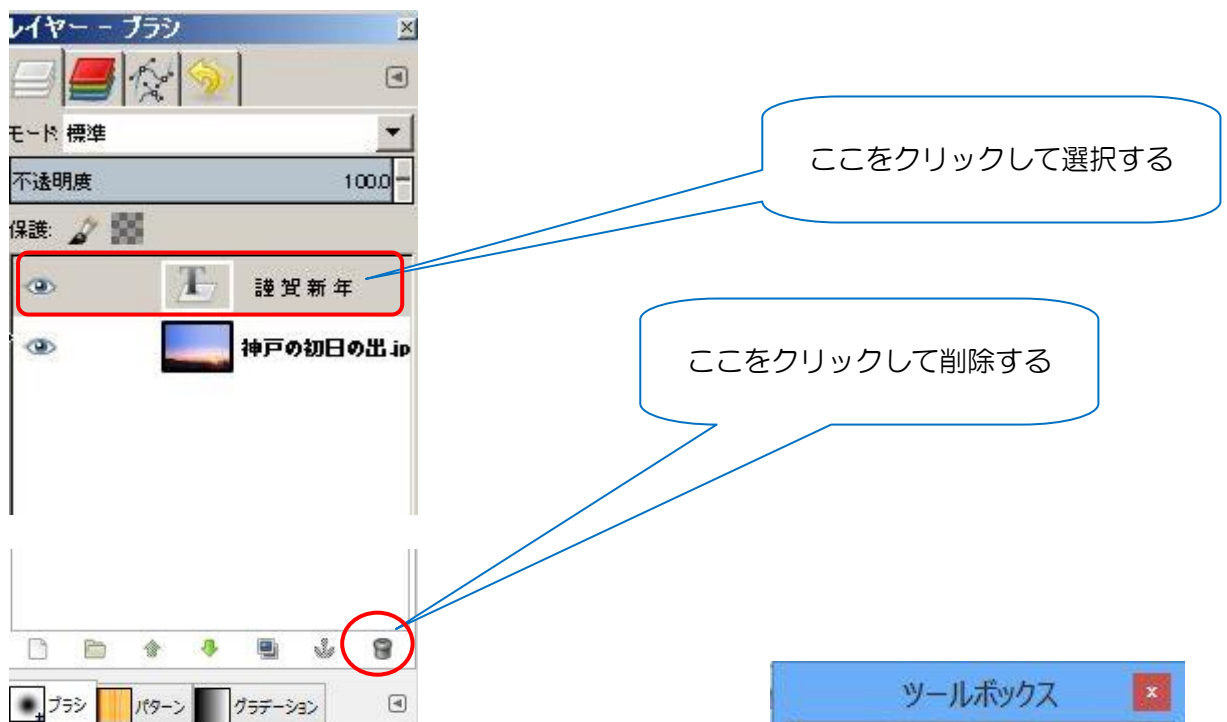
- ① XCF ファイルで保存した画像は、再度画面に読み込んで「テキスト」ボタンをクリックすれば、文字を修正することができるが、JPEG ファイルで保存したものは、修正することはできない。
- ② 文字の一部に色を付けたもの（テキストレイヤーではない）は、「テキストボタン」をクリックした後、修正対象文字をクリックすると下図の画面が表示されるので、「編集」ボタンをクリックする ⇒ 修正ができる。



(文字の一部につけていた色は廃棄され、テキストレイヤーに戻ります。)

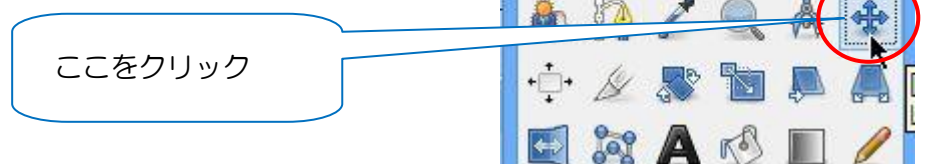
7. 文字列全体を消去する

入力した文字列は、レイヤーとして画像に追加されているので、文字列すべてを削除する場合は、画面右側の「レイヤー」画面で対象のレイヤーを選択し、「削除」ボタンをクリックすればよい。

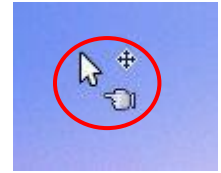


8. 文字列を移動する

- ① ツールボックスの「移動」ボタンをクリックする。



- ② マウスポインタが右図のように変わるので、文字列の上をドラッグして、好みの場所に移動する。



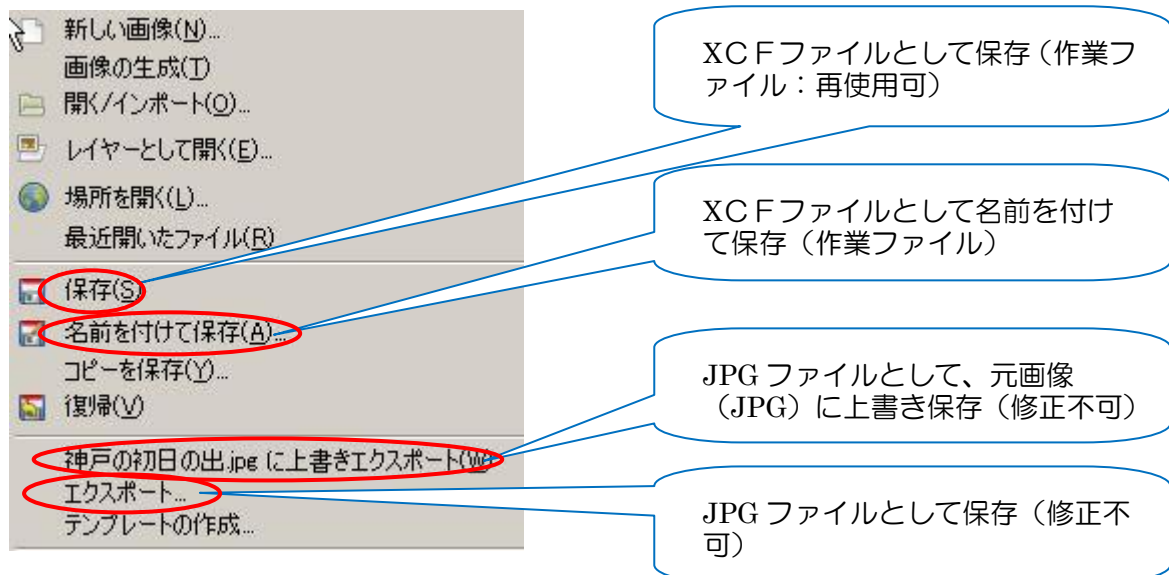
9. その他の加工

この講座で述べているのは、文字書き込みの基本部分のみです。

この他にも文字を色々と加工する機能が備わっていますので、各自でトライしてみてください。

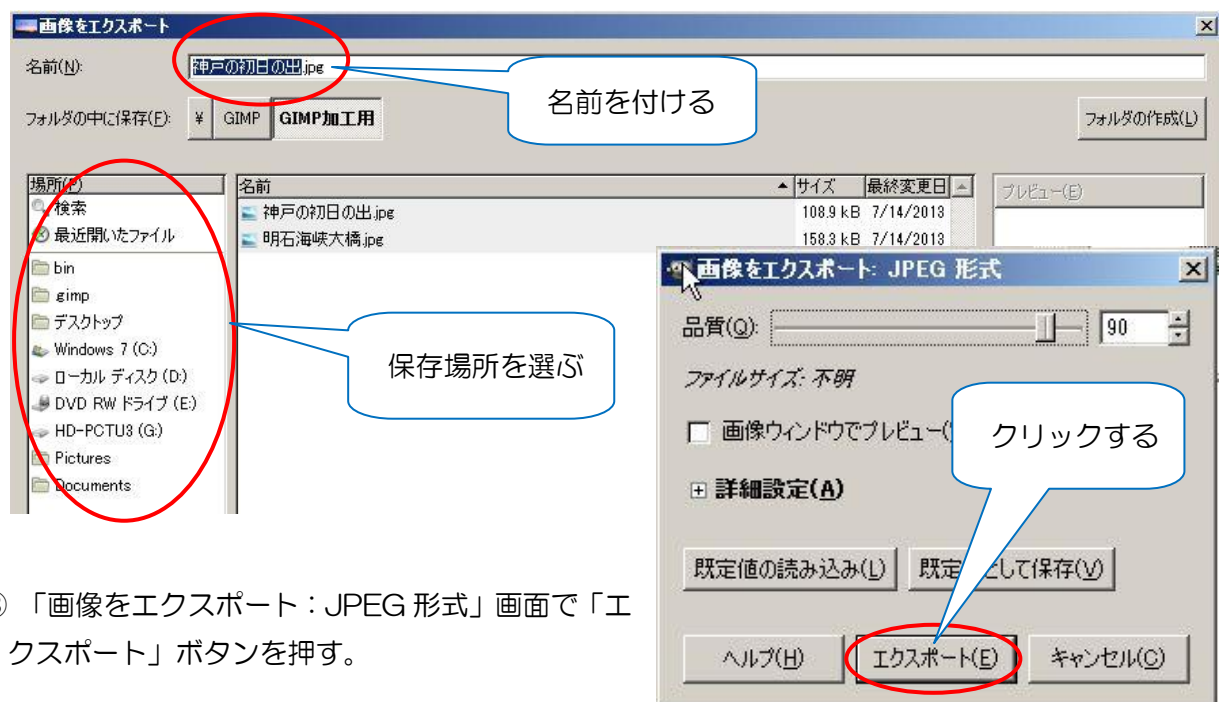
10. 保存

ファイルメニューを開いて、保存方法を選ぶ。



文字書き込みをした画像をエクスポートするには、

- ① 「ファイル」 - 「エクスポート」をクリック ⇒ エクスポート画面で保存場所を選択し、名前を付けて「エクスポート」ボタンをクリックする。



- ③ 「画像をエクスポート: JPEG 形式」画面で「エクスポート」ボタンを押す。